

# 高等学校 第2学年 外国語科（英語） 学習指導案

期 日 平成24年11月9日(金)第5校時  
場 所 県立鹿本高等学校2年7組教室  
指導者 教諭 内田 貴久美  
ALT Rochelle Odon

## 1 単元名

「Lesson7 A Book That Changed Our Thinking」 (MAINSTREAM ENGLISH COURSE II 増進堂)

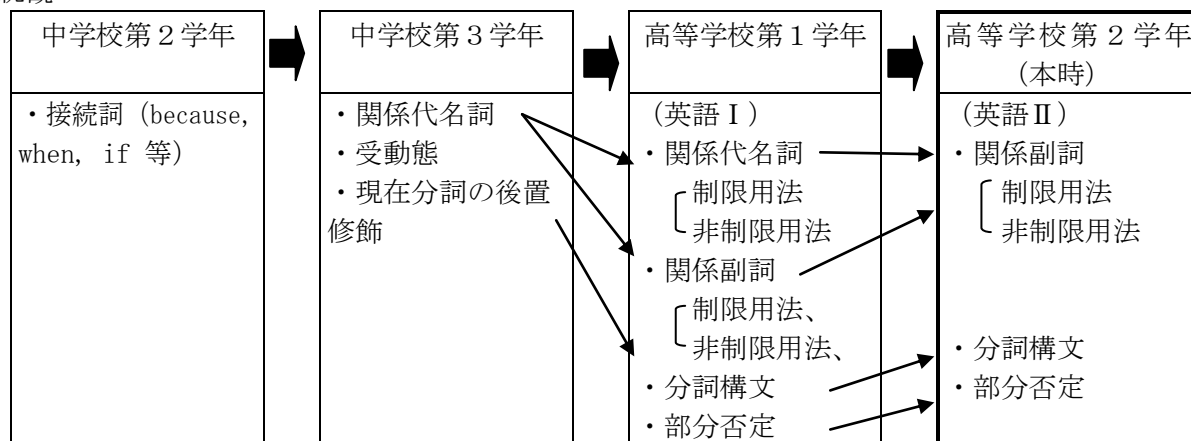
## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、Rachel Carson の『沈黙の春』が書かれた当時の時代背景及び著書の原文の一部で構成されている。著者 Rachel Carson は一時期作家を目指していたこともあり、メッセージの伝え方が巧みである。牧歌的な世界が韻を踏みながら美しく描写され、そして没落していく社会の様子が描かれた直後に筆者の真意が語られる、というインパクトのある内容は、生徒に環境問題などの社会問題について考えるきっかけを与えることができる題材である。化学薬品をテーマに、科学技術の発達が持つ光と影の両面を考察する機会とし、生態系における多様な生物間の関連・食物連鎖のしくみを意識しながら、自分もその共生の一部であることを知ると共に、そこから現代社会や自分の毎日の生活にまで考えを深めさせたい。また、Rachel Carson の良質な原文は英文を読む意欲を高め、さらに、美文でありながら問題を告発し世の中に訴えかける文章の力強さを感じ取りながら、読み進めることが期待できる題材である。

取り扱う主な言語材料は、「関係副詞の非制限用法」「分詞構文（受動態）」「部分否定」であり、いずれも1年次に学習している。これらを確実に習得し活用することで本文内容を的確に読み取り、本単元の内容について英語でまとめたり、知り得た情報を英語で伝えたりする際の表現を豊かにすることができる。

### (2) 系統観



### (3) 生徒観

○英語学習に対する意識調査の結果

調査日:平成24年8月30日 調査対象:41人 単位:%

ア、あてはまる イ、まあまああてはまる ウ、あまりあてはまらない エ、あてはまらない

| アンケート項目 (一部抜粋)          | ア    | イ    | ウ    | エ    |
|-------------------------|------|------|------|------|
| 1 英語は好きな教科である。          | 7.3  | 26.8 | 58.6 | 7.3  |
| 2 英語で「話すこと」は好きである。      | 4.9  | 20.0 | 65.3 | 9.8  |
| 3 英語で「書くこと」は好きである。      | 4.9  | 26.8 | 67.1 | 12.1 |
| 4 英語で「読むこと」は好きである。      | 9.7  | 48.8 | 31.7 | 9.8  |
| 5 英語で「聞くこと」は好きである。      | 2.5  | 29.3 | 51.2 | 17.0 |
| 6 英語の学習は大切である。          | 68.3 | 31.7 | 0    | 0    |
| 7 外国の人と話せるようになりたい。      | 34.2 | 43.9 | 12.1 | 9.8  |
| 8 メールや手紙が英語で書けるようになりたい。 | 31.7 | 31.7 | 26.8 | 9.8  |

8月に実施した意識調査によると、英語学習に対して「あまり好きではない」または「好きではない」と回答した生徒が全体の約66%であった。その理由としては、「単語が覚えられないから」「構文や文法事項がたくさんあり難しいから」等の意見が多い。さらに、4技能ごとの調査では、「読むこと」に関して、「好き」または「まあまあ好き」と答えた生徒が約59%であるのに対して、他の3技能はそれぞれ約30%前後にとどまっている。実際に外国の人と話したりメール等を書いたりする力をつけたいと考えている生徒は7割近くに達していることを考えると、英語学習に対して苦手感はあるが、英語運用能力を身に付けたいと考えている生徒は多いことが分かる。

- 校内の定期テストでは平均点が常に高く、模擬試験等の結果では本クラスの約3/4が学年上位に位置していることからみても総合的に学力が非常に高いクラスであるといえる。
- ペアやグループ活動を好み、指示された活動に積極的に取り組む。また、ペア活動等では学習課題以上の応用的な内容や様々な場面を自分たちで設定し、楽しみながら取り組む姿も見られる。

#### (4) 指導観

- 物事の原因と結果について考察できる題材である。本文で扱われるのは化学に関連するものが中心であるが、その背後にある社会情勢や科学技術の功罪など、複雑に絡みあう原因と結果について考えさせたい。
- 英文の特徴の一つである論理的な文の展開を構造的に理解させながら内容を把握させたい。科学分野の論文を読む場合に不可欠な、物事の因果関係を読み解く力を身に付けさせ、長文読解力へとつなげたい。
- 本教科の既習事項だけでなく、他教科で学んだことも教科横断的に活用できるように発問やワークシート等を工夫しながら言語活動に取り組ませたい。
- 自分の考えや思いを、聞き手や読み手を意識しながら発信する言語使用場面を設ける。文法事項を実際に活用してコミュニケーションを図るこの活動を通して、授業を実際のコミュニケーションの場としたい。
- 本文を「教科書に載っている話」で終わらせず、身近な話題として理解させたい。そのために、生徒の家族、祖父母、本校の社会科教員等に協力を依頼し、当時の実体験や社会事象を聞き取り調査して情報を収集させ、言語活動の材料にする。

| Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の視点から                                                                                                                                |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 生徒自身の生活や体験、他教科での既習事項等を関連させた学習課題を設定し、一文単位での発話ではなく、聞き手や読み手を意識したまとまりのある情報を発信する言語活動に取り組む。さらに、自分の考えや調べたことをまとめるだけでなく、お互いの英文を批評し合い改善していく学習活動を通して、思考をさらに深める授業を展開する。 |  |

### 3 単元の目標と評価規準（参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」）

|                     |                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 単元の目標               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○本文の内容を理解することができる。</li> <li>○関係副詞の非制限用法、分詞構文（受動態）、部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。</li> <li>○科学技術の発達を持つ光と影の両面を考察しながら、自分の考えや新しく知ったり、考えたりしたことを書くことができる。</li> </ul> |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>②「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>                                                                                       |
| 外国語表現の能力            | <ul style="list-style-type: none"> <li>①本文内容や調べたり聞いたりして獲得した情報を、つながりのある文章で書くことができる。</li> <li>②これからの自己の在り方について書き、発表することができる。</li> </ul>                                                                |
| 外国語理解の能力            | <ul style="list-style-type: none"> <li>①1960年代のアメリカに関する本文内容を正しく読み取ることができる。</li> </ul>                                                                                                                |
| 言語や文化についての知識・理解     | <ul style="list-style-type: none"> <li>①関係副詞の非制限用法、分詞構文（受動態）、部分否定の文構造・意味・用法を理解することができる。</li> </ul>                                                                                                   |

4 指導・評価の計画（6時間取扱い 本時5／6）

| 次 | 時 | 学 習 活 動                                                                   | 指 導 上 の 留 意 点<br>※プロジェクトの視点から                                                                                                                    | 評価基準（評価方法）                                                                                                                                       |
|---|---|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1 | ○関係副詞の非制限用法、分詞構文、部分否定の文構造・意味・用法を理解し、練習問題に取り組む。                            | ・関係副詞の非制限用法と制限用法の違いに留意させる。<br>・接続詞を用いた文と分詞構文との共通部分と相違部分を理解させる。<br>・部分否定を全否定と対比させながら理解させる。                                                        | <b>知識・理解①</b> （ノート）<br>関係副詞の非制限用法、分詞構文（受動態）、部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。                                                                        |
| 2 | 2 | ○Part1の内容を読み取り、内容に関するQ&Aを行う。<br>○関係副詞の非制限用法、受動態の分詞構文の本文中での使われ方を理解する。      | ・Part1では、衝撃的な例を挙げることで論述のインパクトを強めていることを理解させる。                                                                                                     | <b>外国語理解の能力①</b> （ワークシート）<br>本文内容を理解し、質問に答えることができる。<br><b>知識・理解①</b> （ノート）<br>関係副詞の非制限用法、分詞構文（受動態）、部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。                 |
|   | 3 | ○Part2の内容を読み取り、内容に関するQ&Aを行う。<br>○日本の当時の社会事象をRachel Carsonに伝える手紙の一部を英文で書く。 | ・時代背景を考慮し、著者の立場から『沈黙の春』を出版した意味合いを考えさせる。<br>・読み手に内容が明確に伝わる文章にするために、お互いの英文を批評し合い、リライトさせる。<br>※他教科の既習事項や自らの思いや思考を促す複数の要素を関連付け、読み手を意識してまとまりのある英文を書く。 | <b>外国語理解の能力①</b> （ワークシート）<br>本文内容の理解し、質問を作ったり、質問に答えたりすることができる。<br><b>表現の能力①</b> （観察・ワークシート）<br>1960年代の日本の社会事象とそれに対する自分の考えを伝える4文程度の文章を作成することができる。 |
|   | 4 | ○Part3の内容を読み取り、内容に関するQ&Aを行う。                                              | ・部分否定を用いて表現してある内容に特に留意して内容を読み取らせる。                                                                                                               | <b>外国語理解の能力①</b> （ワークシート）<br>本文内容を理解し、質問を作ったり、質問に答えたりすることができる。<br><b>コミュニケーションへの関心・意欲・態度①</b> （観察）<br>必要に応じて辞書などを活用して意欲的に読んでいる。                  |

|   |           |                                                                                           |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                      |
|---|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | 5<br>(本時) | <p>○Part4の内容を読み取り、内容に関するQ&amp;Aを行う。</p> <p>○日本の現代の社会事象を Rachel Carsonに伝える手紙の一部を英文で書く。</p> | <p>・Part2からの本文の流れを意識しながら『沈黙の春』が人々に伝えたメッセージに留意させて、筆者が何を人々に確信させたかを読み取らせる。</p> <p>・読み手に内容が明確に伝わる文章にするために、お互いの英文を批評し合い、リライトさせる。</p> <p>※他教科の既習事項や自らの思いや思考を促す複数の要素を関連付け、読み手を意識してまとまりのある英文を書く。</p> | <p><b>外国語理解の能力①</b>（ワークシート）</p> <p>本文内容を理解し、質問を作ったり、質問に答えたりすることができる。</p> <p><b>外国語表現の能力①</b>（観察・ワークシート）</p> <p>現代の日本の環境問題とそれに対する自分の考えを伝える4文程度の文章を作成することができる。</p>     |
| 3 | 6         | <p>○本文全体の概要を把握する。</p> <p>○Rachel Carsonへの手紙を完成させる。</p>                                    | <p>・単元全体を振り返り、インパクトを与える内容構成になっていることに留意させる。</p> <p>※他教科の既習事項や自らの思いや思考を促す複数の要素を関連付け、読み手を意識してまとまりのある英文を書く。</p>                                                                                  | <p><b>外国語表現の能力②</b>（ワークシート）</p> <p>過去や現在の環境問題を考察した上で、これからの自己の在り方について書き、発表することができる。</p> <p><b>コミュニケーションへの関心・意欲・態度②</b>（観察）</p> <p>読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。</p> |

## 5 本時の学習

### (1) 目標

「沈黙の春」が伝えるメッセージを読み取り、現代の日本の環境問題を伝える文章を書くことができる。

### (2) 評価基準

「外国語理解の能力①」（ワークシート）

（B基準）本文内容の理解し、質問を作ったり質問に答えたりすることができる。

（A基準）本文内容を正確に理解し、重要箇所について質問を作ったり、質問に答えたりすることができる。

「外国語表現の能力②」（ワークシート）

（B基準）現代の日本の環境問題とそれに対する自分の考えを伝える4文程度の文章を作成することができる。

（A基準）現代の日本の環境問題を客観的に分析し、自分の考えをより明確に伝える5文程度の文章を作成することができる。

### (3) 展開

| 過程        | 学習活動【学習形態】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 主な発問・指示等                                                                                                                                                                                                                                                                               | 指導上の留意点及び評価<br>※ABCプロジェクトの視点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 備考                                   |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 導入<br>10分 | 1 ウォーミングアップ<br>(1) Affirmative or Negative 【ペア】<br><br>(2) 新出語句や重要表現の意味や用法をQ&Aで確認する。 【一斉】                                                                                                                                                                                                                                         | ○Listen to your partner's opinions and make some comments on them.<br><br>○Answer in English or Japanese.                                                                                                                                                                              | ○元気よく挨拶し、意欲的に授業に取り組める雰囲気をつくる。<br><br>○全員が集中できるようにテンポよく質問する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 単語集                                  |
| 展開<br>35分 | 2 内容理解<br>(1) 生徒自身が作成したQ&Aで、お互いに本文の内容について確認をする。 【ペア】<br>(2) 教師によるQ&Aを行い、同じところを設定できていたかを確認する。 【個人】<br>(3) Chorus Reading<br>3 現代の日本の環境問題と自分の考えを伝える文章を書き、発表する。<br>(1) 用意してきた文をパートナーに伝え、互いにコメントし合う。 【ペア】<br><br>(2) グループで英文を発表し合い、文章表現や接続詞の使い方等に関する批評やアドバイスをする。 【グループ】<br><br>(3) アドバイスを基に英文をリライトする。 【ペア】<br>(4) クラス全体に発表する。 【個人→全体】 | ○パート4全体でどのようなことを書いてあるか意識して重要な点を確認しましょう。<br><br>○Q&Aと同じところを設定していたらチェック欄に丸をつけましょう。<br><br>○英文をペアでお互いに紹介し、相手はそれにコメントをしましょう。<br><br>○批判ではなく改善のための批評を心がけましょう。<br>○改善の視点を基に、アドバイスをしましょう。<br><br>改善の視点<br>①興味を持って読める文章になっているか。<br>②スペルミスや文法的な間違いはないか。<br>③ディスコースマーカーを適切に用いた、まとまりのある文章になっているか。 | 外国語理解の能力①（ワークシート）<br>B：本文内容の理解し、質問を作ったり質問に答えたりすることができる。<br><br>〈B基準に達しない生徒への手立て〉<br>協同で活動に取り組みせたり、個別に支援したりする。<br>○意味を考えながら音読させる。<br>○ALTが自分の考えを紹介し、生徒に参照させる。<br><br>評価：表現の能力（ワークシート）<br>B：現代の日本の環境問題とそれに対する自分の考えを伝える4文程度の文章を作成することができる。<br><br>〈B基準に達しない生徒への手立て〉<br>例文を示すなど個別に支援する。<br>※他教科の既習事項や自らの思いや思考を促す複数の要素に関連付け、読み手を意識してまとまりのある英文を書く。<br>○必要に応じて辞書等を活用して英文を書かせる。<br>○クラスメートからのアドバイスを生かしながら、内容的確信に伝わるようにつながりを意識して書かせる。 | ワークシート<br><br><br><br><br><br>ワークシート |
| 整理<br>5分  | 4 本時の学習内容を確認し次時につなげる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                      |